

安全



安心

JAL不当解雇撤回ニュース

No.203号 2012.10.05
発行:JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先:航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekai.com>

なんと 客乗職940名の採用 戻せ職場に！ 不当解雇した人を 速報！ JALの人員計画

10月5日、日本航空の人員計画が各労組に説明されました。なんと、客室乗務員の新規採用が、940名にも達することが明らかとなりました。不当に84名も解雇し、1000名規模の新規採用をするのです。

1000名規模ともいえる客乗職の新規採用計画		
入社年月	採用数	備考
12年07月	510人	すでに採用済み(日本人250人、外国人260人)
12年10月	140人	7月時点の計画の100人から40人追加
13年04月	290人	当初より90人増員。一部は繰り上げで3月より訓練
合計	940人	5月時点の計画より230人も増加

JALにおいても将来展望が見えない！ 休暇も取れない！ 仕事がきつく身体が持たない！……等々と、退職が後を絶ちません。職場は深刻な人員不足。そして不安全事故が連続し、歯止めがかかっていません。

安全運航を支えているのは、日々運航に従事している労働者です。安全が不可欠な航空にあって、現場の力こそ経営基盤の要です。それが今、危機的な状況に陥っているのです。極端な「合理化」をし、巨額な利益を上げ、東証一部への再上場も果たしました。財務体質は強化されましたが、経営基盤はなんと危ういものでしょう！ これでは砂上の楼閣です。

なぜ被解雇者を職場に戻さないのか！ 戻さないのは、「解雇は労働組合の活動家排除、労組の弱体化という不当労働行為である」という、私たちの指摘の正しさを裏付けています。航空の安全＝お客様の命より労務対策を優先する。この不当な労務政策は、事故のたびに指摘・糾弾され、当時の経営が反省の弁を繰り返してきた、悪しき日航の体質です。

安全・安心の日航に再生する。そのためにはまず不当な労務政策を改め、不当解雇した人たちを職場に戻すことです。そして、職場の現状を正確に捉え、現場で働く労働者が生きいきと働ける環境を整備すること。これが今日航に求められているのです。

